

令和５年度 鈴鹿市応急診療所運営委員会 議事概要

1 日 時

令和５年 11 月 9 日（木） 19 時 30 分～21 時

2 場 所

鈴鹿市総合保健センター 会議室

3 出席者

応急診療所運営委員 7 人

事務局 5 人 合計 12 人

4 傍聴者

なし

5 内 容

(1) 挨拶

(2) 会長・副会長の選任

鈴鹿市応急診療所条例施行規則第 9 条の規定に基づき、委員の互選により、会長には鈴鹿市医師会尾崎会長が、副会長には鈴鹿亀山薬剤師会上荷会長が就任

(3) 令和４年度及び令和５年度（９月末までの）利用状況について

- ・令和４年度の利用状況については、昨年度の約 2.1 倍で、コロナ禍以前と同程度の利用者数となった。
- ・令和５年度は 9 月末時点で昨年度同時期と同程度の利用者数となっている。
- ・GW は日数が少なかったためか、昨年度よりも患者数は減少し、大きな混乱もみられなかった。
- ・7 月中旬から新型コロナウイルス感染症の流行があり利用者数が急増したため、体制を強化して診療を行った。
- ・抗原検査の実施状況については、令和４年度は令和５年 1 月に検査数が最も多く、陽性率は 49%，次いで令和 4 年 8 月が多く、陽性率は 55%であった。令和５年度は利用者数の急増した 7 月以降は、検査数とともに陽性率も高くなり、8 月の陽性率は 52%であった。
- ・令和４年度決算は、受診者の増加に伴い歳入も増加した。

(4) 薬剤等について

- ・採用薬剤の使用量と，使用期限切れにより廃棄となった薬材量の報告
- ・年末年始の薬剤の調達方法の検討
- ・医薬品の供給不足に係る対応についての検討

(5) インフルエンザ流行に備えた体制について

- ・年末年始と冬期の診療体制の確認
- ・検査キットの在庫状況と検査体制の確認

(6) その他

- ・来年度のお盆の診療体制強化に関する検討
- ・小児科の診療時間変更に関する検討